

山梨大学医学部附属病院肝疾患センターにおける 肝炎対策の取り組み

山梨大学医学部
附属病院肝疾患センター
内科学講座第1教室（消化器内科）

坂本 穰、榎本信幸

平成28年度第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会 2017/1/20、東京コンファレンスセンター品川

Minoru SAKAMOTO M.D., Univ. of YAMANASHI 平成28年度 第2回拠点病院間協議会（品川） 2017/1/20



山梨大学医学部附属肝疾患センター

● 肝疾患相談支援業務

- ✓ 肝疾患相談業務
 - 窓口相談（直接来院）
 - 電話、Fax、E-mailによる相談
 - ホームページに相談フォーム
- ✓ 相談会の開催
 - 院内相談会（社会保険労務士+弁護士+肝疾患コーディネーター）
 - 市民公開講座での相談コーナー併設
 - 肝ぞうなんでも相談会の開催（別会場）
 - 医師、弁護士、社会保険労務士、肝疾患コーディネーター
- ✓ 肝臓病教室の開催
- ✓ 市民公開講座の開催（日本肝臓学会肝がん撲滅運動）
- ✓ 山梨肝肝炎普及啓発講習会
- ✓ 厚生労働省「知って肝炎プロジェクト」

● 肝疾患相談支援業務

- ✓ 肝疾患診療連携拠点病院会議
- ✓ 肝疾患専門医療従事者研修会
- ✓ 肝疾患コーディネーター養成講習会・スキルアップ講座
- ✓ 医師以外の医療従事者研修会「肝疾患パネルディスカッション」
- ✓ 肝疾患診療ネットワーク
- ✓ 肝炎サポート（Y-PERS[GF]外来）



山梨大学医学部附属肝疾患センター

山梨大学医学部附属病院 肝疾患センター

文字サイズ

山梨大学医学部附属病院
肝疾患センター

センターからのお知らせ

平成28年9月21日
相談会の日程が決まりました。

平成28年7月29日
肝疾患運動市民公開講座の日程が決まりました。

肝疾患コーディネーター養成講習会の日程が決まりました。

「肝疾患に関する医師以外の医療従事者研修会」の日程が決まりました。

センターのご案内

山梨大学医学部附属病院は、平成20年3月5日に「肝疾患診療連携拠点病院」の指定を県から頂きました。山梨県内では唯一本院が指定され、医療関係者、ウイルス性肝炎の患者さんやご家族の相談に応じるため「肝疾患センター」の開設にいたしました。肝疾患について不安や疑問をお持ちの方の不安を少しでも軽減できるよう、日々努力してまいります。

肝疾患診療連携拠点病院とは

肝疾患診療連携拠点病院とは、肝疾患診療ネットワークの中心的な役割を果たす病院で、原則として各都道府県内に1か所指定されています。ウイルス性肝炎に関する患者さん、キャリア、ご家族からのご相談の受付やウイルス性肝炎に関する様々な情報や県内の専門医療機関等に関する情報を収集と発信を行い、肝疾患診療体制の改善と向上に取り組んでいます。

肝疾患センターの相談方法

電話 **055-273-1111** (代) [▶ 相談方法](#)

〒409-3898
山梨県中央市下河東1110

[▶ 交通アクセス](#)

[センター長あいさつ](#) [医療関係者の方へ](#) [患者さんへ](#) [ご相談方法](#)

Copyright University of Yamanashi Hospital. All rights reserved.

トップページ > ご相談方法 > 患者さん用 お問い合わせ

ご相談方法

患者さん用 お問い合わせ

下記項目を記入し、送信お願いいたします。

氏名【必須】	例) 山田 太郎
フリガナ【必須】	例) ヤマダ タロウ ※全角カナ
性別【必須】	☐ 男性 ☐ 女性
生年月日【必須】	年 月 日 例) 1980年1月1日
年齢【必須】	歳 例) 30歳
住所【必須】	〒 - 例) 〒409-3898 都道府県 例) 山梨県中央市下河東1110
TEL【必須】	※半角英数字
e-mail【必須】	例) ○○@yamanashi.ac.jp
e-mail (確認用)【必須】	例) ○○@yamanashi.ac.jp
現在通院中の病院名【任意】	例) 山梨大学医学部附属病院
主治医名【任意】	例) 山田 太郎
病名【任意】	(☐ B型 ☐ C型) (☐ 慢性肝炎 ☐ 肝硬変 ☐ 肝臓) (その他)
手術歴【任意】	(有 ☐ 年 / ☐ 無) (輸血歴 ☐ 年 / ☐ 無)
現在までの疾患・治療の経過【必須】	
相談内容【必須】	
電話による連絡可能な時間帯【必須】	例) 13:00~20:00

[▶ 確認](#)

肝疾患センターの相談方法

電話 **055-273-1111** (代)

〒409-3898
山梨県中央市下河東1110

[▶ 交通アクセス](#)

肝疾患診療連携拠点病院：相談業務

● 相談体制

センター長（医師）1名、相談員（看護師）1名が常勤

副センター長（医師）1名、相談員（MSW）3名が、兼任

相談窓口開設時間：月～金 10：00～16：00

電話番号：055-273-1111または055-273-9872（医療福祉支援センター内）

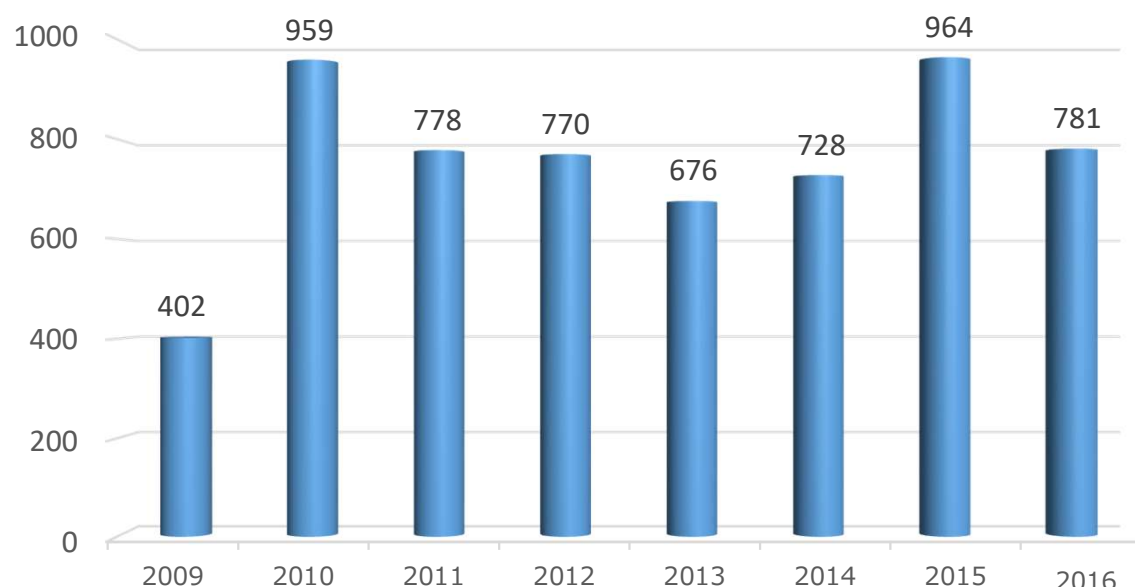
FAX：055-273-2362

E-mail: kanshikkan@yamashi.ac.jp

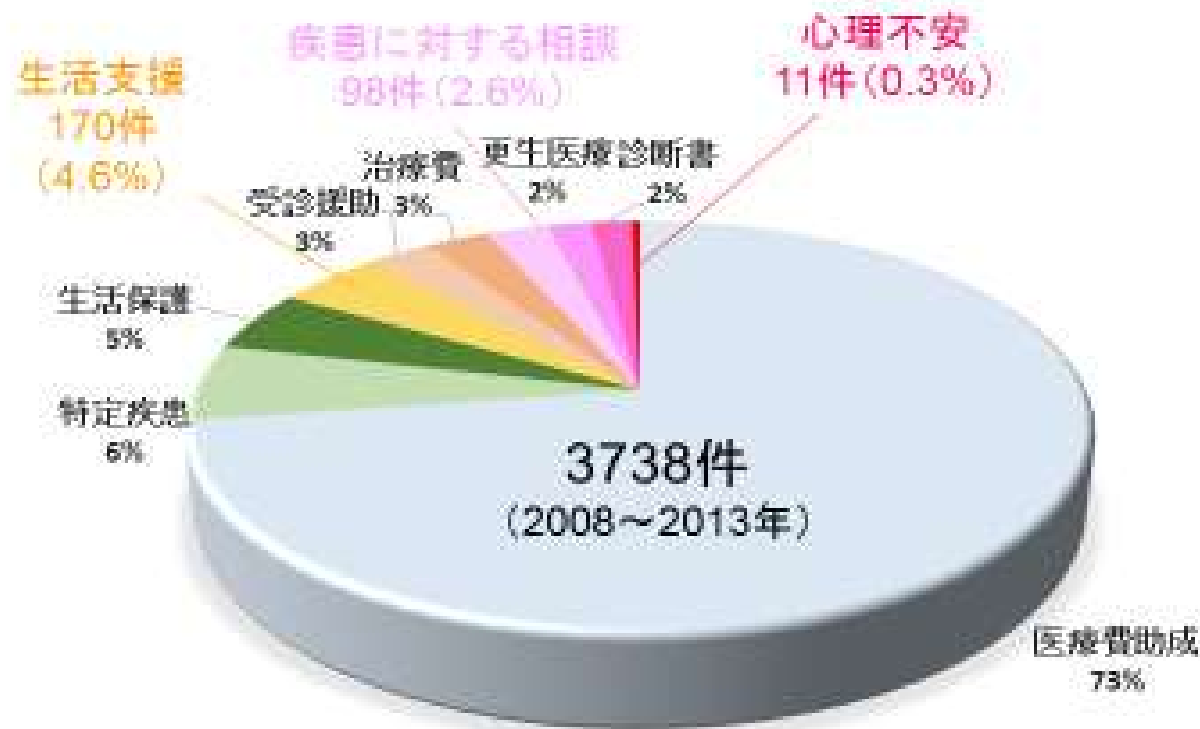
URL: http://www.hosp.yamanashi.ac.jp/chuo_shinryo/kan/index.html



● 相談件数



肝疾患診療連携拠点病院：相談内容



生活支援・就労支援に関する相談は、多く見積もっても
 $279\text{件}/6\text{年} = 47\text{件}/\text{年} = 3.9\text{件}/\text{月}$



肝疾患患者の就労支援などの相談ニーズ調査

- 目的

肝疾患患者における疾患罹患後の就労に関するニーズや課題を把握し、現在の就労支援の問題点と、今後の支援体制構築の基礎資料とする。

- 調査方法

当院肝臓内科受診中の肝疾患患者500例を対象に
主治医からアンケートを配布、自記式、無記名で、郵送による回収

- 調査時期

2015（平成27年）1月27日～3月18日

- 調査項目

病気の状況、がん罹患による仕事への影響、治療と仕事の両立の状況

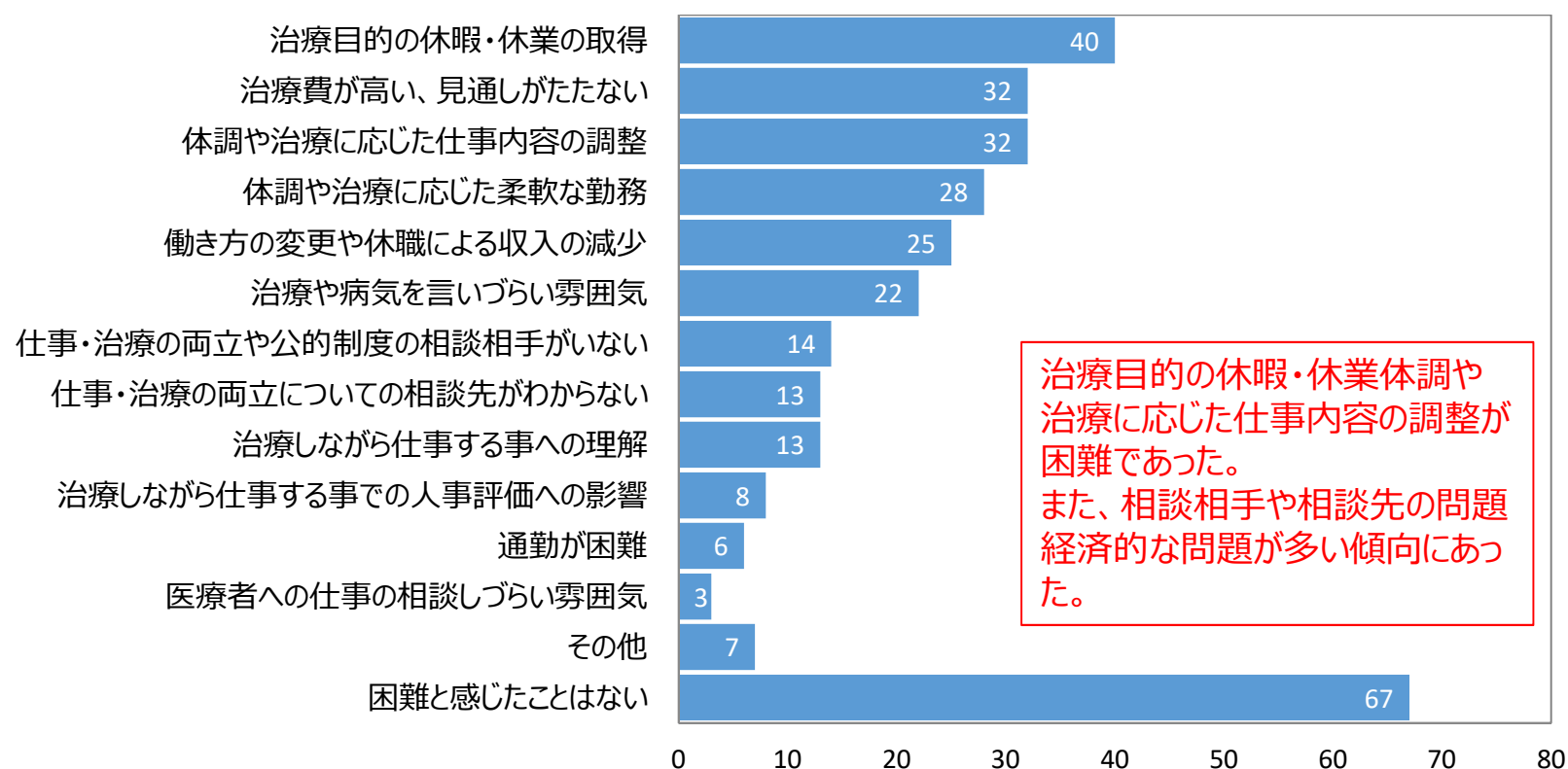
- 対象者

アンケート配布数 期間内の連続した500名の受診者
有効回収数 285名（57%）
有効回収率 275名（97%）



肝疾患患者の就労支援などの相談ニーズ調査

5、治療と仕事の両立するうえでの困難



治療と仕事を両立する上で困難であったことは、「治療目的の休暇・休業がとりづらい」（22.1%）、「体調や症状・障害に応じた仕事内容の調整ができない」（17.7%）、「体調や治療の状況に応じた柔軟な勤務ができない」（15.5%）等の働き方についての問題と「治療費が高い、治療費がいつ頃、いくらかかるか見通しがたたない」（17.7%）、「働き方を変えたり、休職することで収入が減少する」（13.8%）等の経済的な問題が多い傾向にあった。



相談会の開催

- ✓ 就労支援相談会の定期開催
肝疾患拠点病院内での定期開催 ←肝疾患患者、通院者
開催日・曜日を決めて定期開催
院内周知、広報
- ✓ 市民公開講座での併設・同時開催
院外会場 ←一般住民、非肝疾患患者
一般紙、市町村広報誌等での広報
ホームページでの広報・周知
- ✓ 就労支援に特化しないかたちでの、相談会開催
とくに需要の高い、肝炎訴訟相談との相乗り
栄養相談、心理相談・……
- ✓ 肝疾患コーディネーターを「相談対応者」として活用



肝疾患コーディネーターによる院内相談会

知って、肝？！
Hepatitis : Think Again

しごとのこと、肝臓治療のこと
おこまりのことはありませんか

無料

肝ぞう相談会

当院の肝疾患コーディネーターと
社会保険労務士・弁護士がなんでもご相談に応じます
山梨大学医学部附属病院
日程・会場は裏面をご確認ください

B型肝炎で
給付金がもらえるの？

しごとを休んだ時の
社会保障は
どうなるの？

のみ薬で
肝炎が
治るの？

治療期間は
3か月って
本当？

病気を
治療
しながらでも
しごとが
できるの？

病気のことは
職場のだれに
相談すれば
いいの？

肝炎って差別
されないの？

医療費
の助成も
あるの？

主催 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター
連絡先 055-273-1111

この事業は厚生労働省が行う「肝疾患患者の就業に関する総合支援モデル事業」の一環で行われています

相談会予定表

- ◆月1回の予定で下記日程を予定しております。
- ◆各回とも社会保険労務士と弁護士が相談に応じます。
- ◆各回とも院内の「肝疾患コーディネーター」も相談に応じます。

- 第1回 平成28年10月19日（水）
- 第2回 平成28年11月22日（火）
- 第3回 平成28年12月21日（水）
- 第4回 平成29年1月12日（木）
- 第5回 平成29年2月15日（水）

*いずれの回とも開催時間は

14:00～16:00

*相談をご希望する方は、
相談日当日病院正面玄関ホールの
7番相談窓口へおたずねください。



知って。肝炎
Hepatitis : Think Again

無料

肝臓なんでも相談会

日時：平成28年3月6日(日)
13:00～15:00
場所：アピオ甲府 本館

肝臓病のことでお困りの方、
病気のこと、治療のこと、医療費のこと、しごとのこと、
肝炎訴訟のこと、食事のこと等日常生活について
医師、弁護士、社会保険労務士、保健師
栄養士、検査技師（肝疾患コーディネーター）が
なんでもご相談に応じます。

B型肝炎の給付金の手続きは
お済みですか。弁護士も相談に
応じます。



主催 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター
連絡先 山梨県中央市下河原1110 電話 055-273-1111
後援 山梨県

この事業は厚生労働省が行う「肝炎患者の啓発に関する総合支援モデル事業」の一環として行われます。

2016（平成28）年3月5日 山梨日日新聞

知って、肝炎
Hepatitis Think Again

無料

肝臓なんでも相談会

日時：平成29年1月28日(土)
13:30~15:30 (受付13時~)

場所：富士Calm (人材開発センター 富士研修所)

富士吉田市新屋1400

肝臓病のことでお困りの方、
病気のこと、治療のこと、医療費のこと、しごとのこと、
肝炎訴訟のこと、食事のこと等日常生活について
医師、弁護士、社会保険労務士、保健師等
肝疾患コーディネーターが
なんでもご相談に応じます。プライバシーは厳守いたします。

B型肝炎の給付金の手続きは
もうお済みですか。
弁護士も相談に応じます。



主催 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター
連絡先 山梨県中央市下河原1110 電話 055-273-1111
後援 山梨県

この事業は厚生労働省が行う「肝疾患等の医療に関する総合支援モデル事業」の一環として行われます。



「知って肝炎」プロジェクト

知って、肝炎
Hepatitis: Think Again

厚生労働省 肝炎協会対策推進国民運動事業

TOP プロジェクトについて 肝炎とは? 肝炎データバンク 活動報告

パートナー企業・団体募集
肝炎疾患啓発活動を通じて健全な社会を築きましょう!

知って、肝炎
Hepatitis: Think Again

「知って、肝炎」キックオフミーティング2014
2014/07/22 開催

パートナー参加方法・参加

NEWS & TOPICS

2014.09.10
日経健康セミナー21「戦略的健康管理が会社を豊かにする」
ホール (東京・大手町)

2014.08.07
伍代肝炎対策特別大使が対京東都知事表敬訪問し

2014.07.22

まずは検査に行く!
肝炎ウイルス
検査マップ

検査施設を
探す

ご挨拶

厚生労働省
肝炎協会対策推進国民運動
特別参事
杉 良太郎

厚生労働省
肝炎対策
特別大使
伍代 夏子

厚生労働省
肝炎対策広報大使
徳光 和夫

パートナー企業・団体一覧 (50音順)

- 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団
- アフウェイ企画会社
- アメリカンホーム保険会社
- 栄研化学株式会社
- MSD株式会社
- オート・クリエカル・ダイアグノス・テック・クス株式会社
- 三井物産・サイエンス株式会社
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
- 第一三共株式会社
- 株式会社宇都宮ドクター
- 株式会社特殊免疫研究所
- 東レ株式会社
- 株式会社ピークル
- 株式会社フジク
- 株式会社フジメディカル
- プリストル・マイヤーズ株式会社
- ミズホメディ株式会社
- 株式会社ミノファージン製薬



「知って肝炎」プロジェクト・新聞掲載後の相談者数

	月日	曜		会場	相談者数
平成26年度	2014/11/1	土	市民公開講座	山梨県立図書館	1
	2015/2/18	水	院内相談会		2
	2015/3/1	日	なんでも相談会	アピオ甲府	15
	2015/3/18	水	院内相談会		1
平成27年度	2015/9/9	水	院内相談会		1
	2015/9/26	土	市民公開講座	山梨大学医学部講堂	1
	2015/10/21	水	院内相談会		4
	2015/11/18	水	院内相談会		0
	2015/11/28	土	なんでも相談会	アピオ甲府	0
	2016/1/20	水	院内相談会		0
	2016/2/17	水	院内相談会		2

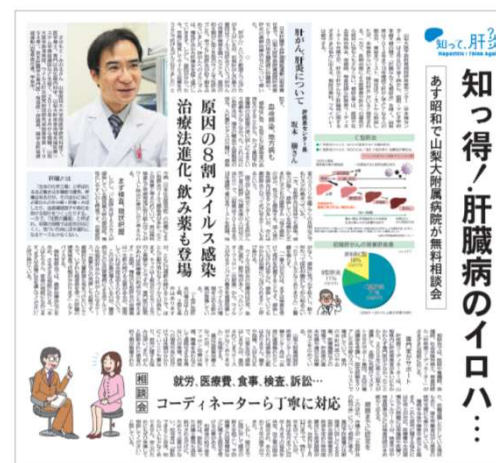


知って肝炎
新聞企画
記事



相談会の開催・なんでも相談会

相談者	
患者本人	36
家族・知人	9
医療関係者	1
その他	1
合計	47



相談内容	
疾患に関すること	33
受診相談	2
医療費	0
就労相談	0
肝炎訴訟	7
その他	5
合計	47

診断に関する相談	9
治療に関する相談	21
予防に関する相談	3

医療過誤	1
患者に対する対応・心構	1
障害年金	1
自立・制度	1
肝炎に関する一般的内容	1



相談会：市民公開講座での同時開催

日本肝臓学会主催肝がん撲滅運動
市民公開講座

知っていればこわくない
肝がんの**最新情報**2016

日時：平成28年**9月10日**（土）14：00～16：00

場所：山梨大学医学部臨床大講堂

- 講演1 知って得する肝臓の知識～ABCDEF～
山梨大学第1内科 佐藤光明 先生
- 講演2 肝がんにならないために～ただけ肝炎ウイルス～
山梨大学肝疾患センター 坂本 稔 先生
- 講演3 肝がんになってもこわくない～たくさんある治療法～
山梨大学第1外科 松田政徳 先生

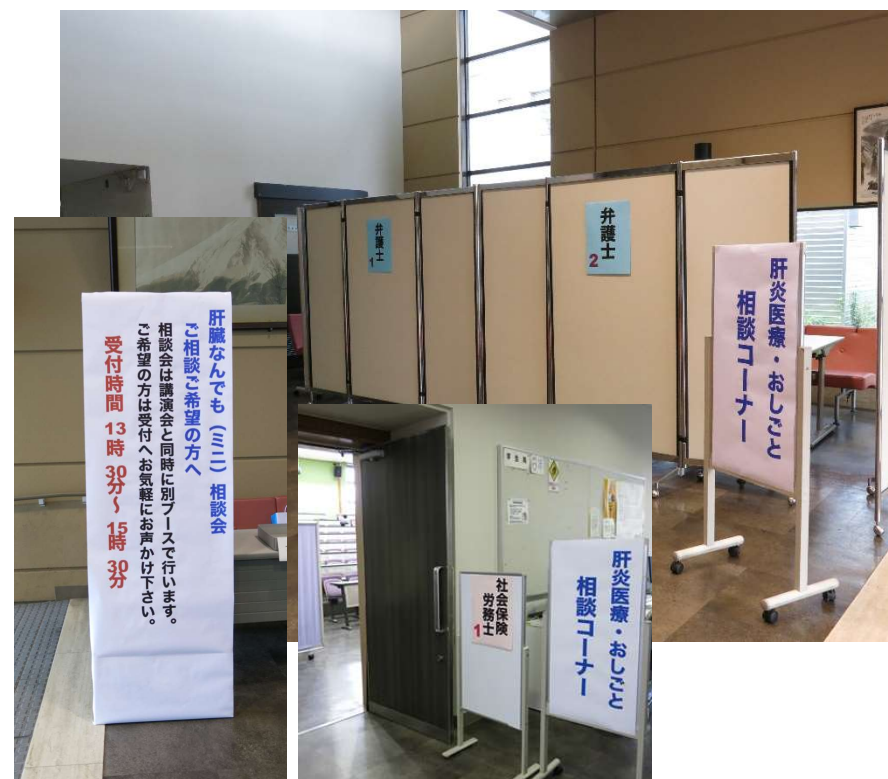


同時開催：
肝臓なんでも 相談会
医師・弁護士・社会保険労務士が
なんでもお答えします

講演会および相談会ともに事前の受付はありません。
お気軽にご参加ください。
主催：日本肝臓学会
後援：山梨大学医学部附属病院肝疾患センター・山梨県
問い合わせ先：山梨大学第1内科 055-273-9584

同時開催：
肝臓なんでも 相談会

医師・弁護士・社会保険労務士が
なんでもお答えします



対応者：医師、弁護士、社会保険労務士
相談者数：8件



肝臓病教室

肝臓病教室 ごあんない

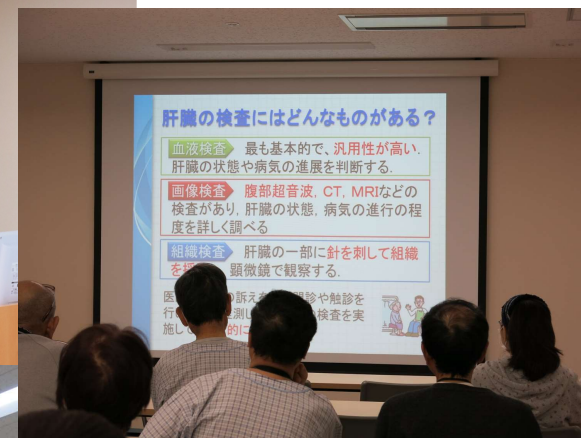
肝疾患センターでは、肝臓病の患者さまやご家族を対象に肝臓病教室を開催いたします。
当院のスタッフが、日常生活や生活習慣病とのかわり、栄養管理やおくすりのことをわかりやすく
お話しいたします。この機会にぜひご参加ください。

日時 **3月17日**（木曜日）18:30～19:30
場所 7階（新）北病棟カンファレンスルーム

肝臓病と生活習慣（第1内科 中山康弘先生）
肝臓の検査～肝機能検査を中心に～（検査部 坂本美穂子先生）
肝臓病の食事（栄養管理部 小林貴子先生）



入院中の患者さまで参加をご希望の方はスタッフまでお声をおかけください
主催 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター



いぶん・くら暮らし

「C型肝炎の仕組みを教えてください。」

C型肝炎ウイルスに感染すると、人の体はこのウイルスを排除しようとします。この際、ウイルスと一緒に肝臓も壊れます。肝臓は再生力の強い臓器ですが、破壊

Ｃ型肝炎とはどのような病気ですか？

Ｃ型肝炎ウィルスは感染から起きる慢性の肝臓病です。進行すると肝臓変性、肝がんを合併し、自覚症状が乏しいことが特徴。国内の感染者は推定１５０万人ほどで、「１型」と「２型」のウイルスが占め、１型が、１型の患者が割合を占めます。型によって肝硬変や進行度の異なるもの、治療法や薬が異なることがあります。山梨県にＣ型肝炎の患者さんが多くいます。

C型肝炎の 新しい薬って？

C型肝炎患者の60代男性。インターフェロン治療よりも効果的で、薬に治療できる薬があると聞きました。どんな薬なのか教えてください。



回答者

山梨大付属病院
肝疾患センター長
坂本 穰医師



さかもと・みのる
さん 1990年山梨県大
学(現山梨医科大学)
卒。同大学院修了、医
学博士。同大第1内
科入局、北崎市立病
院、自治医科大学防
生医学教室などを経
て2010年から現職。
山梨医科大学准教
授、日本内科学会総
合内科専門医・指導
医、日本消化器病学
会消化器専門医・
指導医、評議員。日
本肝臓学会肝臓専門
医・指導医・評議員
。同学会肝臓撲滅
運動奨励賞責任者。

ある患者さんには、「6カ月」の薬の方が回っています。

治療費はどのくらい？

最新の治療は3カ月で600万円ほど(今年3月現在)。健康保険、高額療養費制度を併用して、肝炎治療費助成を利用すると、所得に応じて月1万〜2万円の自己負担で治療できます。

—飲み薬による治療の認知度は

宣伝や口コミでたいぶ認知されましたが、高齢やほかの病気を理由にC型肝炎の治療に乗り出せない方は多いでしょう。インターフェロン治療への抵抗感から治療を諦めている方もいると思います。

当院は「肝疾患センター」を設け、診療支援・相談を行っている。地域の方と肝臓専門医の橋渡しとなる「肝疾患コーディネーター」も全国に先駆けて養成しました。

—B型肝炎も気になります。

ウィルス感染から発症します。C型肝炎のようにウィルスを体内から完全に追い出すことが難しく、ウィルスのある程度抑える飲み薬を服用します。

—肝炎治療を受けていない患者に対し、メッセージを。

まずは、検査を受けることが重要。C型肝炎ウイルスの発見（1989年）以前に手術や輸血を受けた方は必須です。ウイルスに感染していた場合、肝臓専門医を要診し、肝臓の様子と治療の必要性を判断してもらいましょ。

《聞き手・音藤裕介》
 次回は28日に掲載します

肝炎ウイルスに伴う病気の進行イメージ



※肝炎から突然肝がんを発症するケースもある

ーインターフェロン治療について教えてください。
インターフェロンはもともと体内で作られる物質で、ウイルスを追い出す働きをします。C型肝炎と再生を繰り返すうちに、傷が残って肝臓が硬くなってしまいます。最終的に肝がんを合併することもあります。

1日1回3ヵ月間内服
治療効果はほぼ100%

インターフェロン		口内錠ウィルス入り(OAA)	
注射	成形・投与法	錠剤・内服	
低い(50~80%) ウィルスの型によって でも治療効果に差	治療 効果	100%近い治癒率 ウィルスの型によらず 高い治療効果	
重い 発熱、食欲低下、 脱毛、うつ病など	副作用	ほとんどない	
24~48週 場合によっては72 週か、それ以上のこ と	治療 期間	12~24週	
入院が必要 外来で導入可能なこ とも	入院	外来導入が可能 合併症によっては、 入院が必要なる場合も	
やや高額 医療費助成によって 費用軽減	費用	高額 医療費助成によって 費用軽減	

インタフェロン治療とは、新しい新しい治療薬とよばれ、飲み薬で治療する。最新の薬は、1日1回軟膏を3週間内服する。治療効果もほぼ100%を達成している。ウイルスが体内から消えれば、肝臓の進行を要しませぬ。ただし、腎臓の

ウイルスは体の隅の隅に侵入して、そこで増えたりしては、追いつかなくてとがでかいので、患者さんには定期的な注射で、いたたまれないのを補います。治療期間は6月～1年ほど、倦怠感や食欲不振、発熱が強く出ます。副作用の割合は重篤は少なく、最も気になるのが、C型肝炎ウイルス感染症による肝臓がんのリスクがあります。しかし、新しい治療法についても少しずつ進んでいます。秋が始めまりました。副作用の事で

宣伝や口コミでたいぶ認知されましたが、高齢やほかの病気を理由にC型肝炎の治療に乗り出せない方は多いでしょう。インターフェロン治療への抵抗感から治療を諦めている方もいると思います。

当院は「肝疾患センター」を設け、診療支援・相談を行っている。地域の方と肝臓専門医の橋渡しとなる「肝疾患コーディネーター」も全国に先駆けて養成しました。

—B型肝炎も気になります。

ウィルス感染から発症します。C型肝炎のようにウィルスを体内から完全に追い出すことが難しく、ウィルスのある程度抑える飲み薬を服用します。

—肝炎治療を受けていない患者に対し、メッセージを。

まずは、検査を受けることが重要。C型肝炎ウイルスの発見（1989年）以前に手術や輸血を受けた方は必須です。ウイルスに感染していた場合、肝臓専門医を要診し、肝臓の様子と治療の必要性を判断してもらいましょ。

《聞き手・音藤裕介》
 次回は28日に掲載します

どんな治療法があるのですか？

従来、注射による治療や、注射と飲み薬を組み合わせる治療が行われてきました。最近では、病状によっては、1日1～2回服用する飲み薬のみで治療する選択肢もできています。

治療費はどれくらいですか？

治療費助成制度があるため、自己負担額はひと月あたり10,000円または20,000円です。
(世帯全員の市町村民税(所得割)課税年額によります)

どこの病院へ行けばいいですか？

かかりつけ医から提案します。以下から探すこともできます。
<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/documents/senmoni.pdf>

治療期間は？

3ヵ月または6ヵ月です。薬や病状によって異なります。

肝炎 Q&A

よくあるご質問に
お答えします。

仕事や日常生活に影響しませんか？

入院して仕事を休んだり、就業中に治療のために業務を中断するようなことは、ほとんどありません。また、治療中は禁酒すること以外、とくに生活を変える必要はありません。
※病状によっては入院を勧められる場合もあります。

治療による身体の負担はありますか？

病状により個人差があります。たとえば飲み薬のみでの治療は、3ヵ月間、1日1～2回服用するだけで負担が少ない治療法と言えます。

通院の頻度は？

飲み薬の服用中は、原則として2週に1回通院し、必要に応じて採血などを行います。

山梨県の肝臓相談窓口にお電話を 月曜～金曜 10時～16時

055-273-9872 山梨大学医学部附属病院
肝疾患センター

山梨県

福祉保健部 健康増進課
TEL: 055-223-1494 FAX: 055-223-1499

このリーフレットは、佐賀県データ活用プロジェクトの調査・分析結果および平成27年度厚生労働科学研究費補助金(肝臓等伝染病研究事業)他単的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究(佐賀分科会)で作成されました。

山梨県

今こそ、たたけ！ 肝炎ウイルス



(画像はイメージです)

入院しないで肝炎ウイルスをたたき飲み薬も、できました。

肝炎ウイルスを放置しておくと、
肝がんに進む可能性があります。

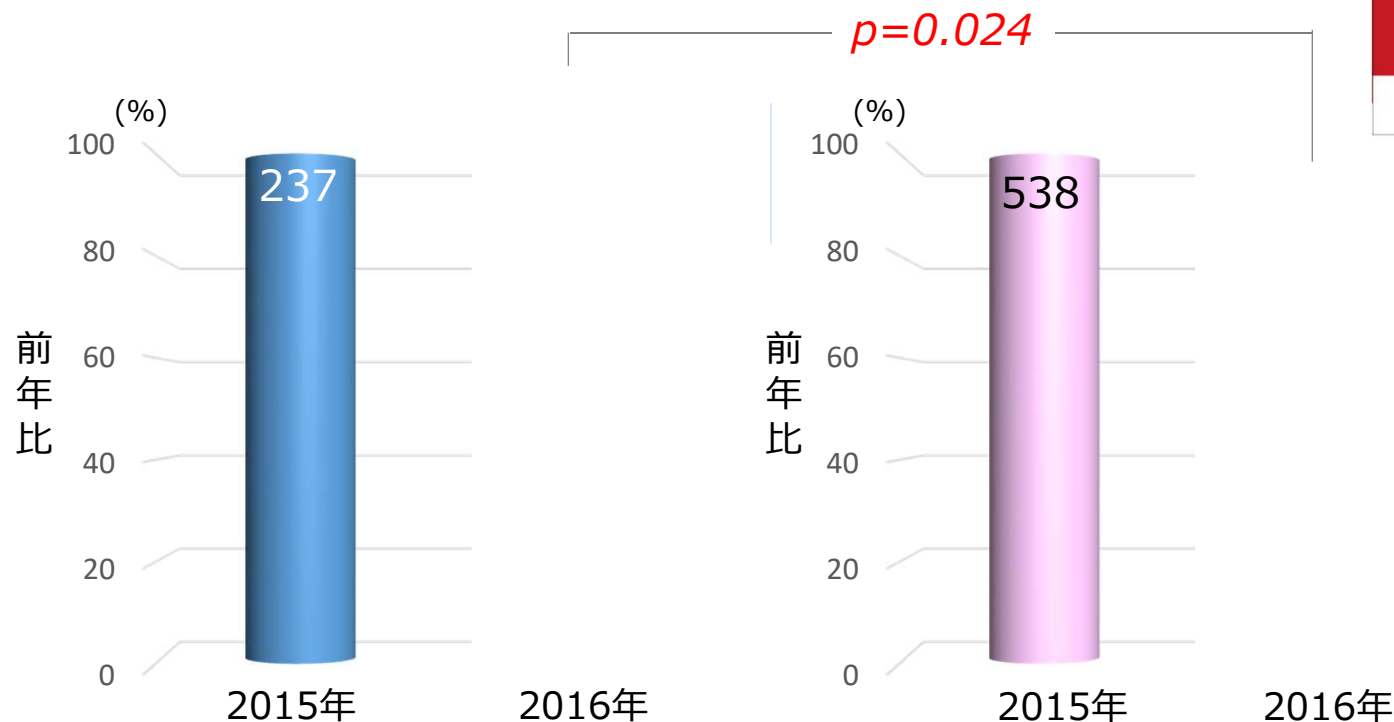
肝機能の数値が基準内でも、肝がんに進んでいることがあります。

山梨県の肝臓相談窓口にお電話を 月曜～金曜 10時～16時

055-273-9872 山梨大学医学部附属病院
肝疾患センター

「たたけ!肝炎」リーフレット効果検証

- 「たたけ!肝炎」リーフレット効果を、
C型肝炎医療費助成医療費助成受給者証交付数で検証
- 2016（平成28）年2月リーフレット配布
A市 30枚、B市 10枚、C市 50枚、D市 50枚、E市 10枚、
F町 20枚、G村 20枚=7市町村、190枚配布



リーフレット配布 7市町村

リーフレット非配布 20市町村

* 2016年は
1月から3月を
1年分に換算

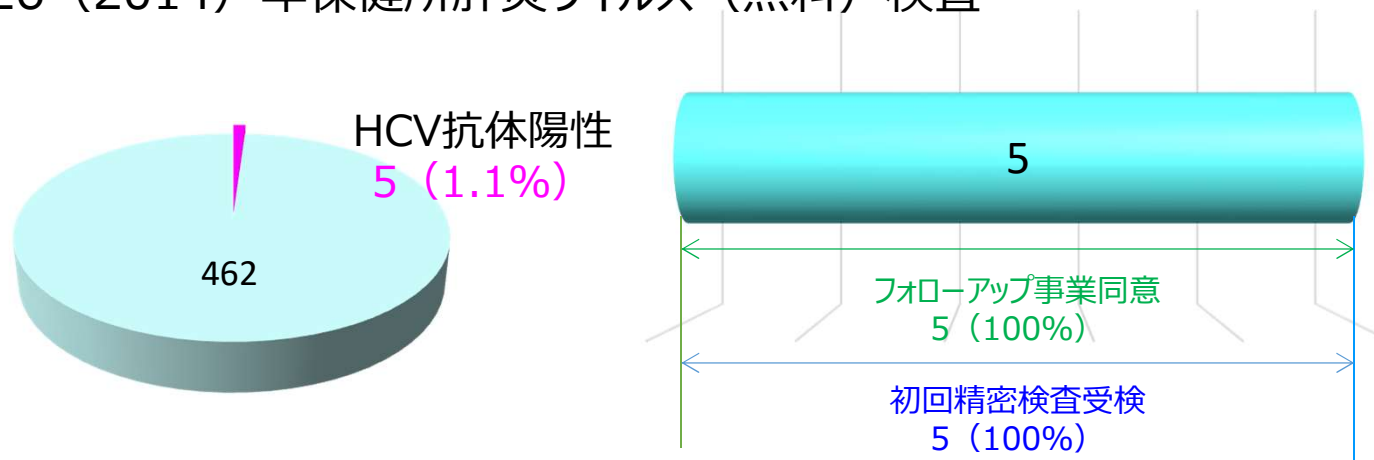


ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業におけるフォローアップ

● 平成26（2014）年肝炎ウイルス検診（市町村）実施

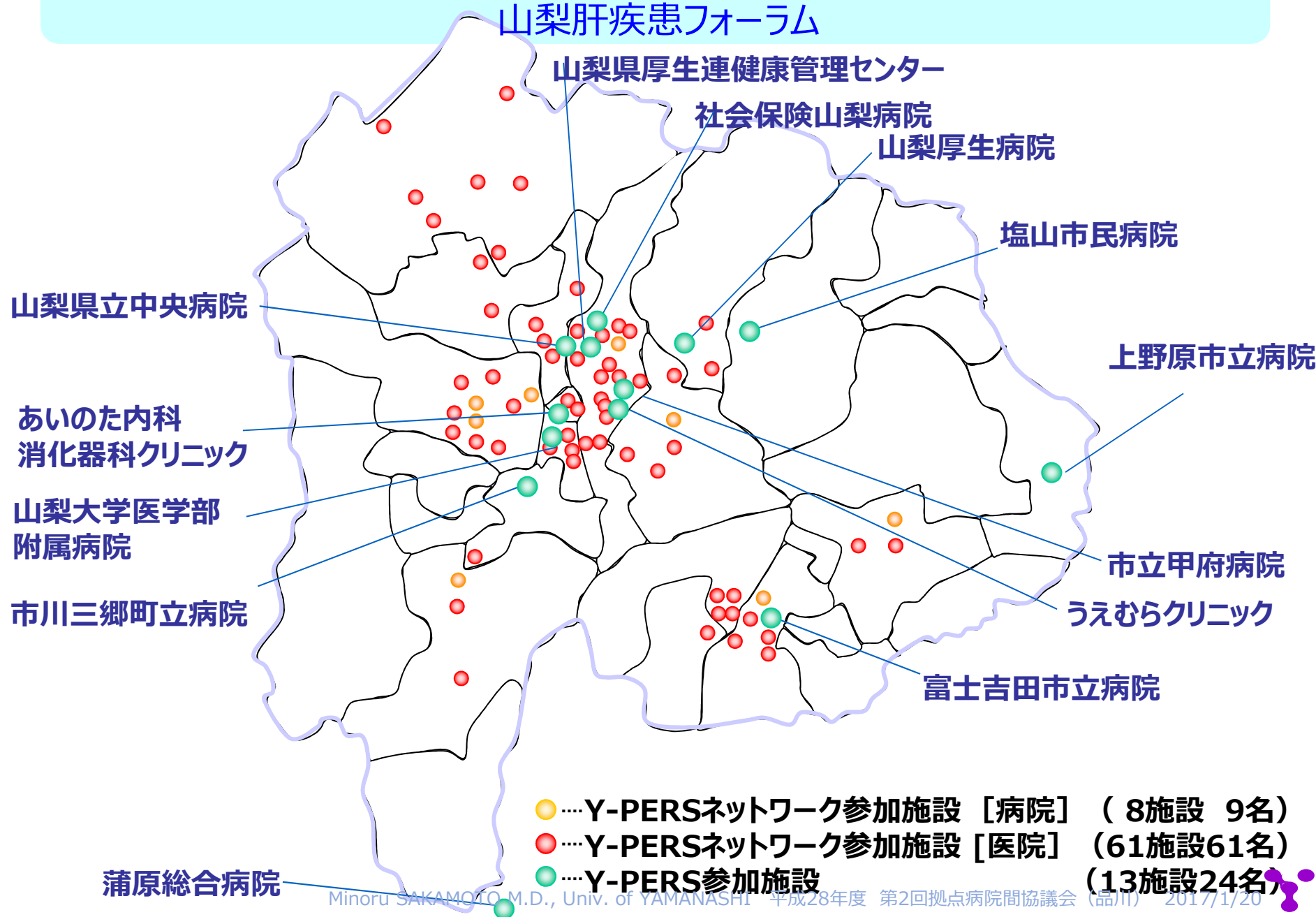


● 平成26（2014）年保健所肝炎ウイルス（無料）検査



Y-PERS (Yamanashi PEG-IFNα2b+ Ribavirin Study)

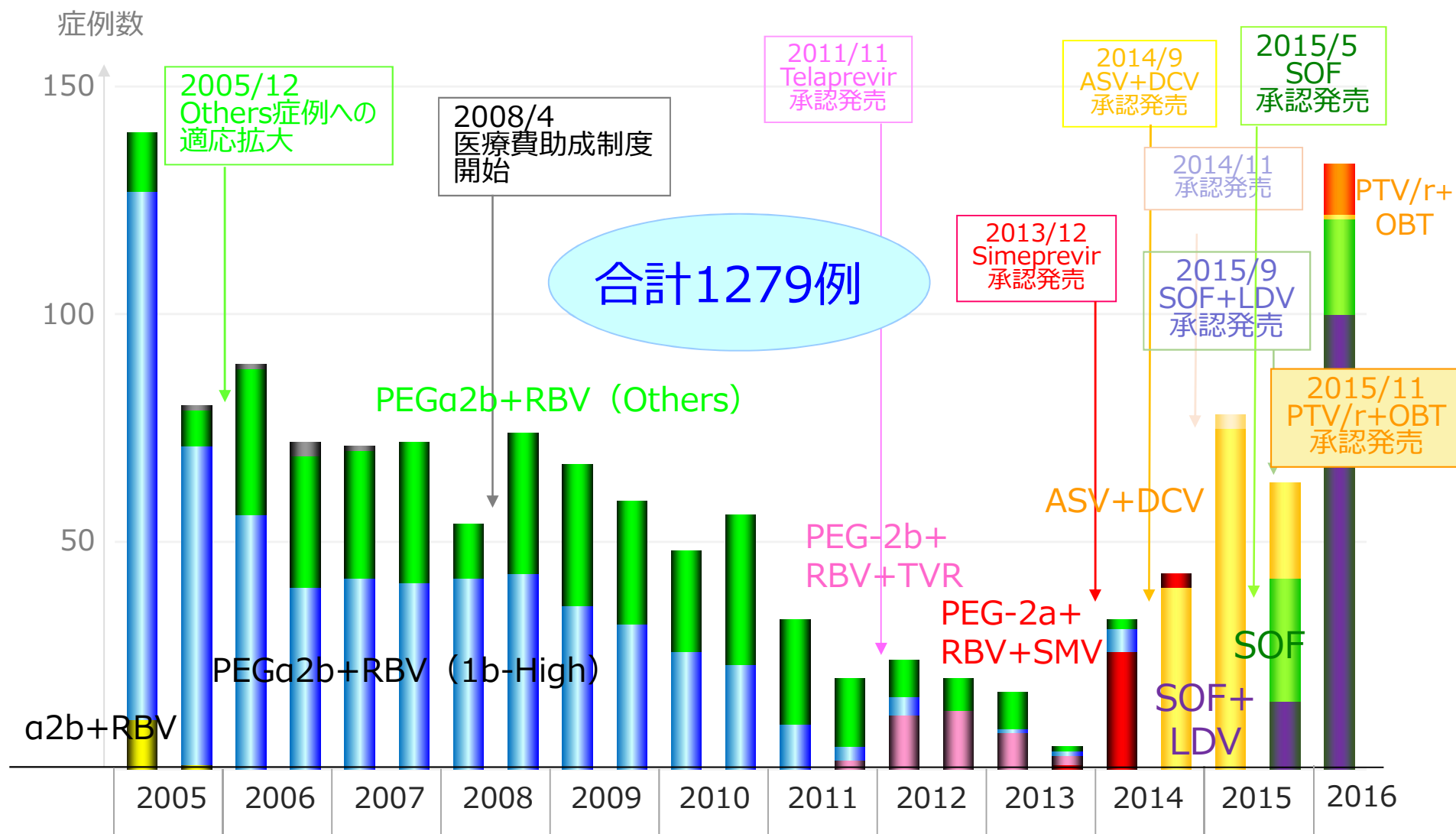
山梨肝疾患フォーラム



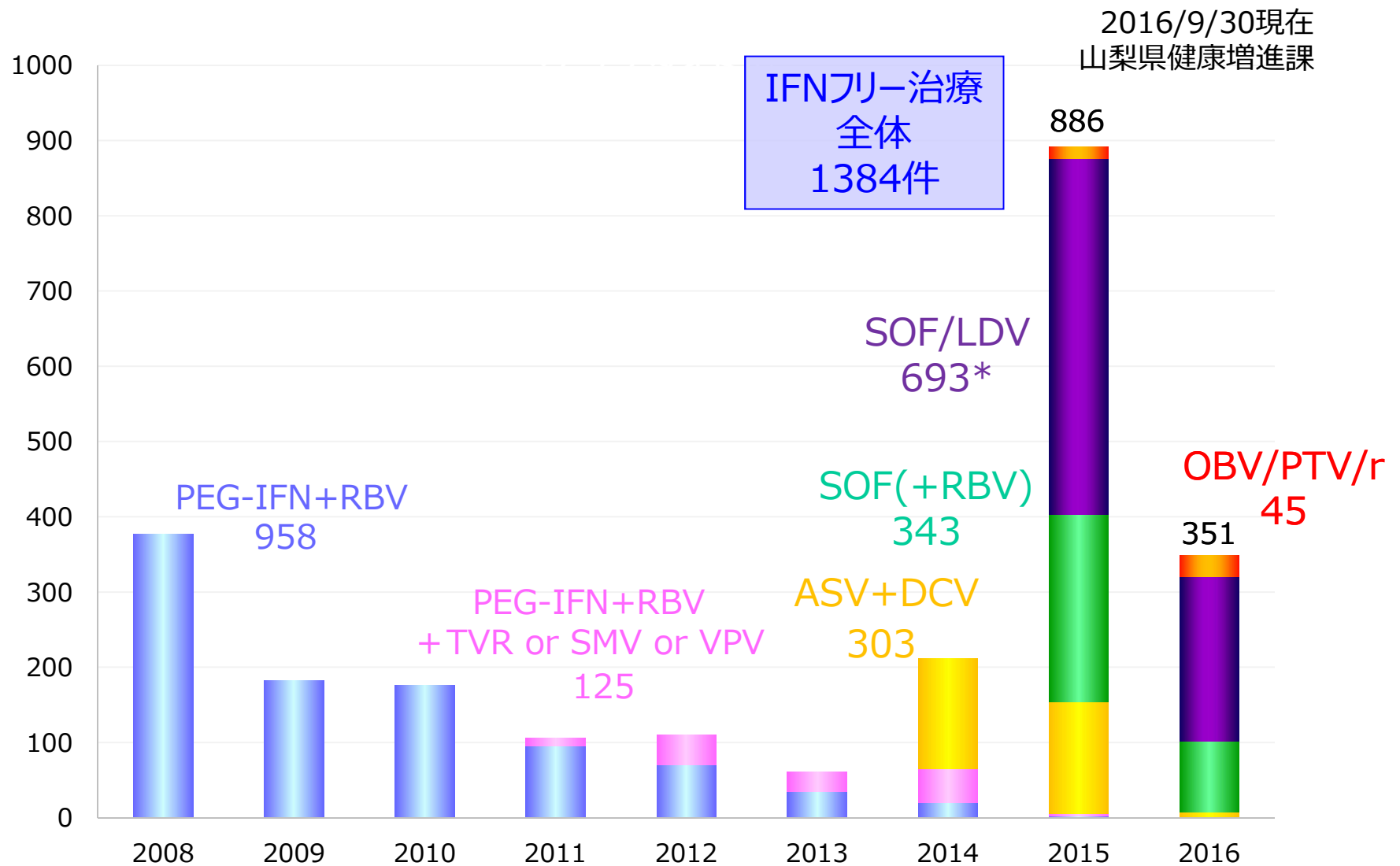
Y-PERS (Yamanashi PEG-IFNa2b+ Ribavirin Study)

山梨肝疾患フォーラム

2016/7/11現在



山梨県の肝炎医療費助成の現状



*再治療2例を含む



山梨大学医学部附属病院 肝炎サポート外来

- Y-PERSネットワーク参加医師からの紹介患者を中心に

Genome(G)

宿主ゲノム情報 (IL28B、ITPA)

HCVウイルス情報 (ISDR/IRRDR、コアアミノ酸変異)

薬剤 (DAA) 耐性変異測定

ASV+DCV治療不成功例への対応・相談

Fibrosis(F)

FibroScanによる肝硬度測定

- 週3回、2～4名/日、予約受付
当科事務で予約取得
保険診療（外来受診料ほか）
+研究費で費用負担
ゲノム・研究採血の同意取得者



市町村におけるFibroScan®検診

- 肝がん高リスク群の囲い込みをめざし、2町で試験的に開始

対象： 肝機能異常者および希望者

症例数： 189例（A町 46例、B町 143例）

年齢： 平均63歳（33～95歳）

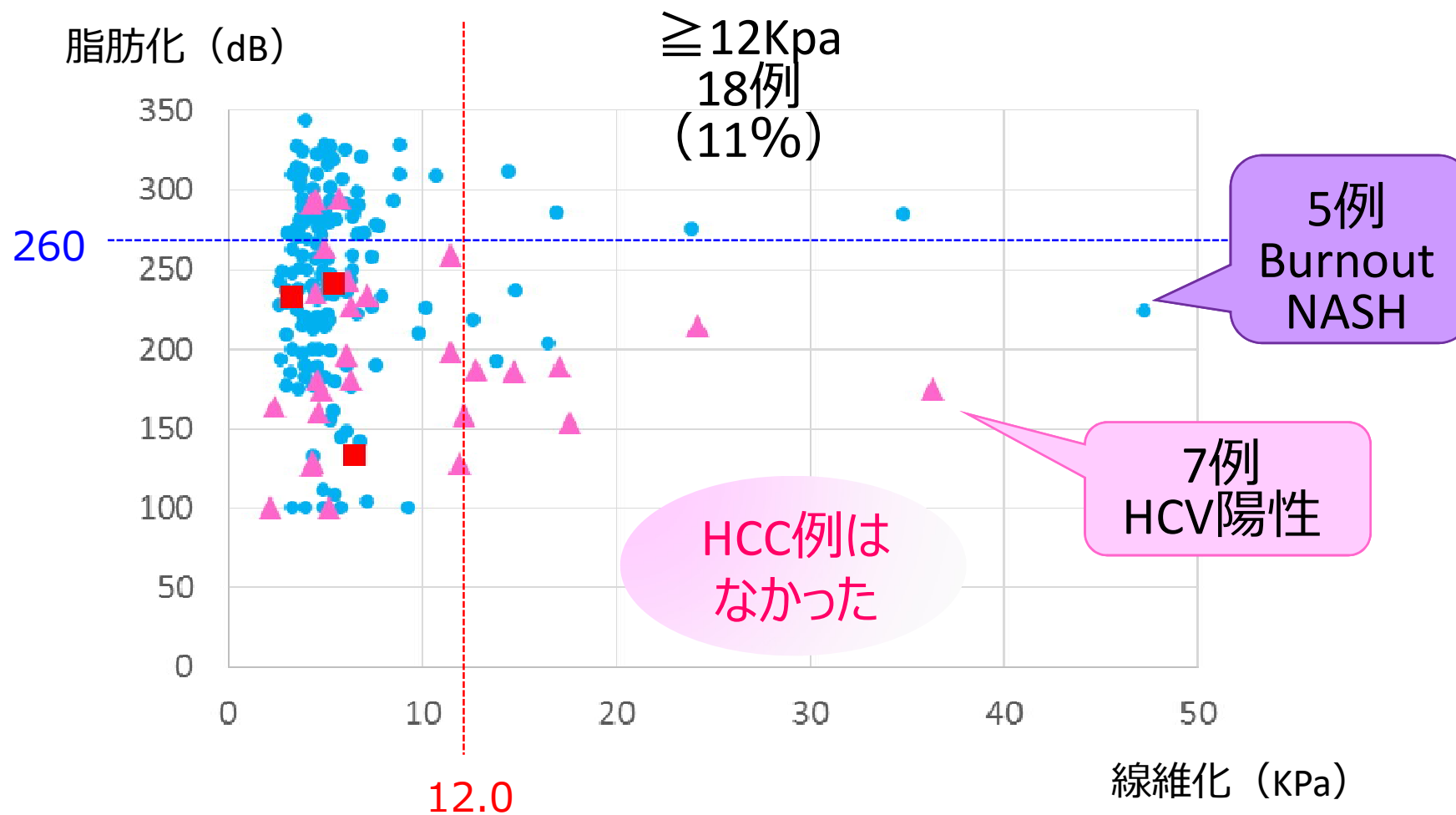
性別： 男性 103（54%）、女性 86例

- 結果

BMI	23.1±3.7
飲酒歴	29（15%）
B/C/NBNC	4（2%） / 30（16%） / 155（82%）
AST	38.9±25.2
ALT	38.6±25.9
γGTP	73.6±90.0
肝硬度	6.6±5.6
肝脂肪量（CAP）	234.8±59.7



市町村におけるFibroScan®検診



ウイルス肝炎検査陽性者の受診勧奨

- 院内での手術前などのスクリーニング検査陽性者に対し
主治医（依頼医）への説明
患者への説明と受診勧奨
- 電子カルテ改修に併せ、運用開始（2015/4/1から運用開始）
自動的なアラートシステムと文書作成機能

The screenshot displays a medical software interface. On the left, a sidebar contains buttons for '感染' (Infection), '妊娠' (Pregnancy), '検査' (Examination), and '受診勧奨' (Consultation Recommendation), with the last one highlighted by a red dashed box. Below these is a yellow pop-up window titled '【要内科受診】' (Need Internal Medicine Consultation) with text: '先日の肝炎検査で陽性患者様に内科を受診。肝炎ウイルス検査結果「カルテ・オーダー」「診療書類」を印刷した方は...' (For patients with positive hepatitis test results from yesterday, please consult an internal medicine doctor. Those who have printed the 'Chart/Order' and 'Medical Documents' for the hepatitis virus test results are...).

The main window shows a document titled '肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め' (Recommendation for further examination based on hepatitis virus test results). It includes a header with '最終版 (変更箇所/コメントの表示)' and '表示(S)'. Below the title, there is a text input field with a placeholder 'あ ひらがなで入力します' and a '報告日' (Report Date) field with the value '@sysdate'. The '患者氏名' (Patient Name) field contains '@patientname'. The document body contains the text: 'あなたは今回、下記の肝炎ウイルス検査結果が陽性であると判明しました。現在のあなたの肝臓の状態を相談されることをお勧めします。' (This time, it has been determined that your hepatitis virus test results are positive. We recommend that you consult about the current state of your liver).

At the bottom, there is a table with the following content:

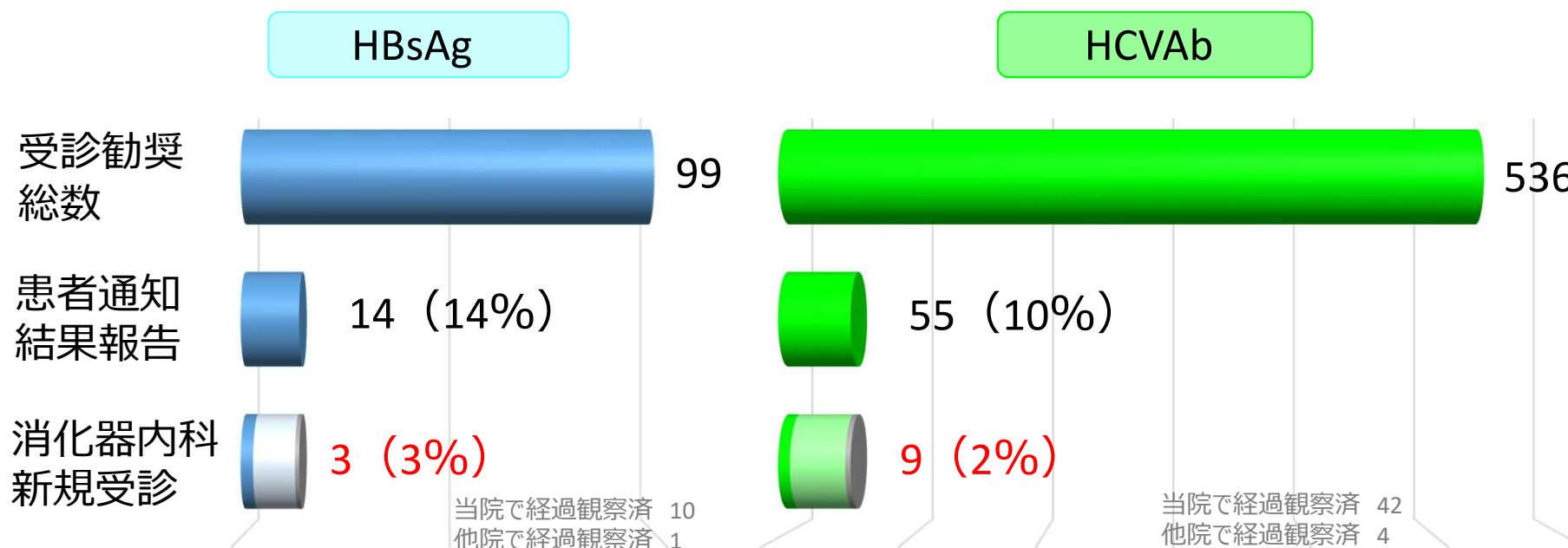
【肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め】		消化器 外来
2013/03/29(金)		
依頼	01版: 保守員)教育系0016 政管 家 限度	
文書名	肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め	

On the right side of the bottom section, there are two lines of text: 'HBs 抗体 \$輸血_HBs 抗体' and 'HBV-DNA \$輸血_HBV DNA 定'.



電子カルテによる肝炎検査陽性者フォローアップ

- 2015（平成27）年4月1日以降に
初めてHBs抗原またはHCV抗体陽性検査が判明した場合表示
アラート表示→患者通知と同時に結果報告

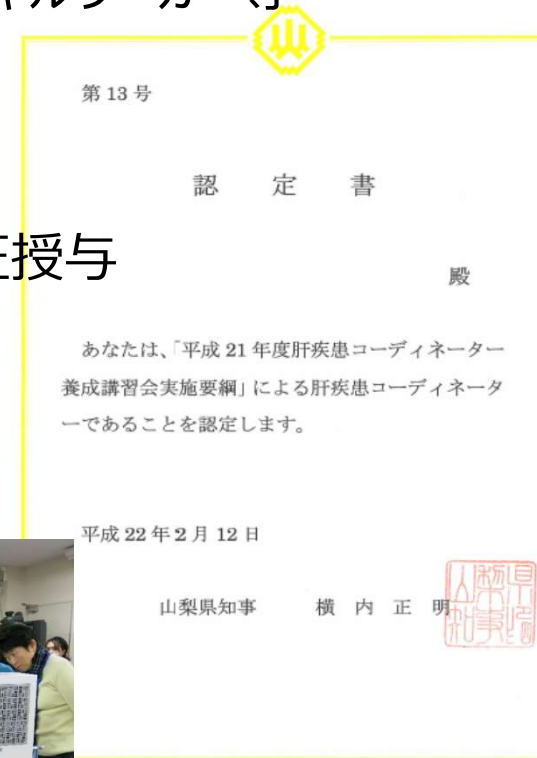


耳鼻科→ASC（フォローアップ）
整形外科→ASC（フォローアップ）
消化器外科→ASC（フォローアップ）

血液内科→既感染 当院紹介初診→治療（SOF/LDV）
皮膚科→不明 当院紹介初診→治療（SOF/LDV）
皮膚科→不明 当院紹介初診→治療（SOF/LDV）
消化器内科→既感染 当院紹介初診→治療（SOF+RBV）
眼科→他院紹介

山梨大学医学部肝疾患センターでは 「肝疾患コーディネーター」を養成しています

- 2009（平成21）年度から、肝臓専門医と非専門医（かかりつけ医）間を補完する目的で、全国に先駆け養成開始。
- 対象者：市町村担当者、看護師、保健師、薬剤師、臨床検査技師
栄養士、産業医、社会保険労務士、ソーシャルワーカー等
- 全8回の講習受講
全講義講習修了者に試験、
試験合格者に 県知事から認定証
病院長、肝疾患センター長から修了証授与
- 2015（平成27）年までに合計277名が資格取得
2016（平成28）年は42名受講
- 資格取得者を対象に、年1回「スキルアップ講座」開講
より実践的な講座：
ファイブロスキャン・RFA治療見学・体験
施設訪問・見学
グループワーク等々



肝疾患コーディネーター養成講習会テキスト

平成27年度肝疾患コーディネーター養成講習会スケジュール表

会場：山梨大学医学部キャンパス臨床小講堂

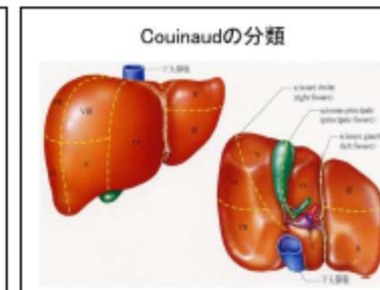
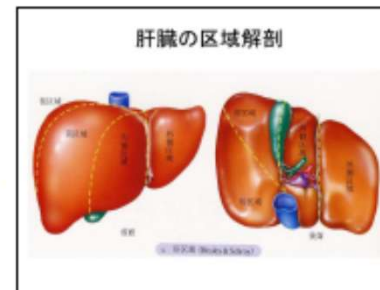
		氏名		出席 確認
10月	15日 (木)	開講式 16:45～17:00		
		17:00～18:00 C型肝炎	山崎大学医学部第1内科 櫻本信幸 先生	①
		18:00～19:00 肝硬変	山崎大学附属病勢肝疾患センター 坂本 耀 先生	②
	22日 (木)	17:00～18:00 肝臓の外科的治療	山崎大学医学部第2外科 松田政盛 先生	③
		18:00～19:00 肝臓	山崎大学医学部地域医療臨床研修学 中山康弘 先生	④
	29日 (木)	17:00～18:00 アルコール性・自己免疫性 脂肪肝、NASH	山崎大学医学部第1内科 前川伸哉 先生	⑤
11月		18:00～19:00 B型肝炎	山崎大学医学部地域医療臨床研修学 井上泰輔 先生	⑥
	12日 (木)	17:00～18:00 公的助成制度	山梨県福祉保健部健康増進課	⑦
		18:00～19:00 肝炎患者の精神的ケア	山崎大学看護学科学系・臨床看護学 古澤洋子 先生	⑧
11月	19日 (木)	18:00～19:00 試験		
	26日 (木)	17:00～ 認定証交付		

講義：①から⑧のすべてを受講し、出席印をもらうこと。

試験：講義内容から出題される基本的事項に関する試験であり、合格点に達した者に認定証を交付する。

事務局：山梨大学医学部附属病院肝疾患センター（第1内科医局内）

TEL: 055-273-9504 FAX: 055-273-6740



肝疾患コーディネーター育成

患者と専門医
橋渡し役に

山梨大病院で講習始まる



肝疾患患者の相談に応じる「肝疾患コーディネーター」の養成講習会が、県の肝疾患連携拠点病院に指定されている山梨大医学部付属病院で5日始まった。患者と専門医の橋渡しも手掛け、肝疾患の専門医が不足する県内の現状を補う役割を担う。こうした人材育成は全国初の取り組みで、主催者の同病院と連携して講座を企画した県健康増進課は「肝疾患対策のモデルケースになり得る」としている。

講習会は、市町村や医療機関に勤務する保健師や看護師、肝疾患の幅広い知識を持った人材を育成しようと始まった講習会。中央・山梨大医学部付属病院

く、肝炎対策の強化が課題となつてくる。肝炎ウイルス感染が分かって治療を受けない人も少なくないといわれ、コーディネーターの活動で早期治療につなげる狙いもある。講習会初日の5日は、同病院でB型肝炎、C型肝炎をテーマにした2回の講義を行った。講師を務めた同病院肝疾患センター長の榎本信幸・同大医学部第1内科教授は「患者が身近に相談できる環境がないのが現状。(コーディネーターの活動で)治療が手遅れになったり、過度な不安を抱いたりするケースの解消につなげたい」と話している。

2009(平成21)年11月6日
山梨日日新聞

肝疾患コーディネーター新たに32人 適切な治療法普及へ期待



「肝疾患コーディネーター」の講習会を受講し、山梨大医学部付属病院で講習会を受講したコーディネーターの一人、山梨大医学部付属病院

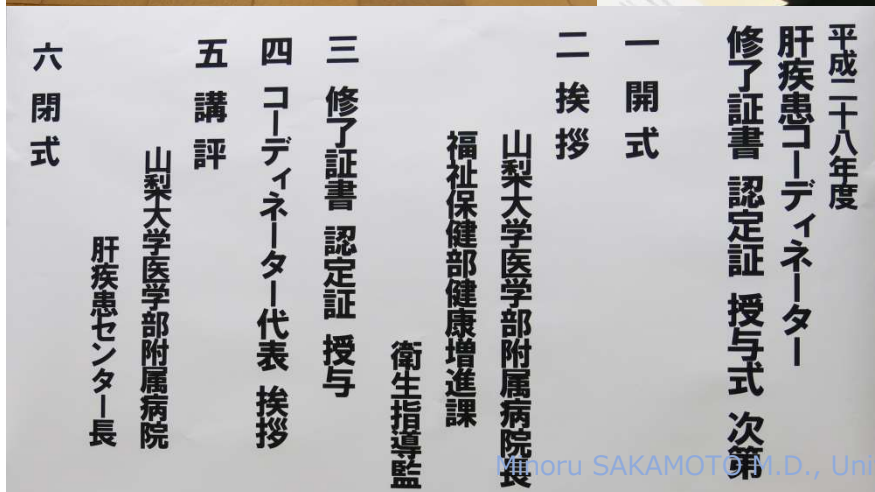
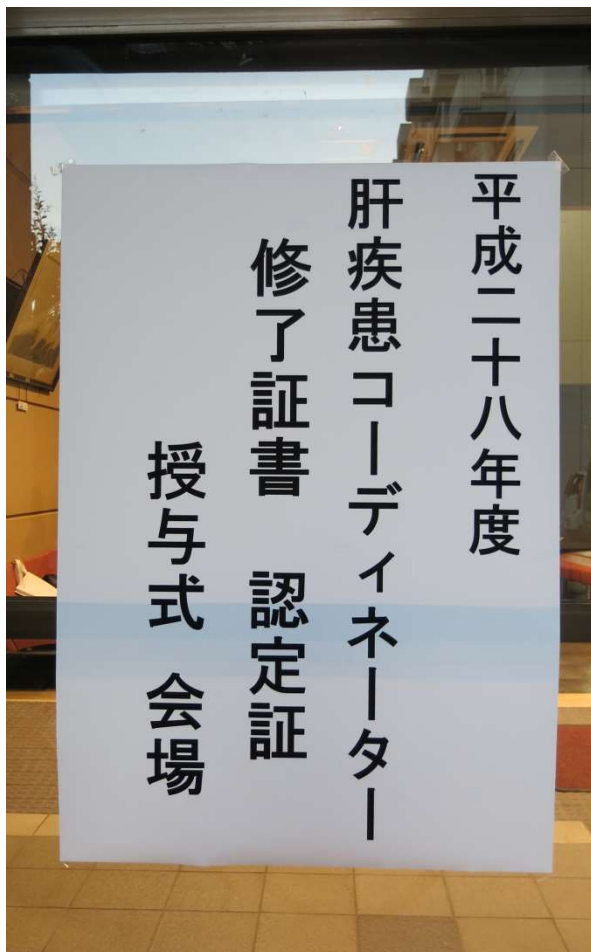
患者と専門医の橋渡しも

県と山梨大が連携して、肝疾患患者の相談に応じる「肝疾患コーディネーター」の養成講習会が、本年度の養成講習会に併せて開かれ、受講生32人が認定試験に合格。昨年度の合格者と合わせて、県内の市町村窓口や企業、医療機関などの現場で、肝疾患の基本知識や適切な治療法を広めていく。

コーディネーター育成の背景は、県内のC型肝炎患者は、県内の肝疾患患者の約1・4%と全国

師や看護士など、同大付属病院の医師らから肝疾患や肝がんの治療法、治療の公的助成制度を学んだ。今後は、それぞれの肝疾患の診療事業や医療相談の場を通じて治療法のアドバイスなどを行い、患者と専門医の橋渡し役を担う。12日には中央・同大付属病院に協力を要するとい

2011(平成23)年1月13日
山梨日日新聞





肝疾患支援へ 知識を深める

昭和で講座
山梨大付属病院肝疾患セン

肝疾患コーディネーターが最新の肝炎治療などを学んだ講座

＝昭和・アピオ

ター（坂本穰センター長）は5日、昭和・アピオで肝疾患コーディネータースキルアップ講座を開いた。

肝疾患コーディネーターは肝疾患者の相談・支援を行い、適切な医療サービスの利用を促す資格。講座は、コーディネーターに肝疾患の知識を深めてもらうことを目的に開いてい

て、今年で4回目。約30人が参加した。

同センター副センター長の井上泰輔医師が講演。井上医師はC型肝炎の治療薬として副作用の多いインターフェロンに代わる飲み薬が普及していることを紹介し、「治療対象となる患者の掘り起こしが大切」と呼び掛けた。また、参加者は三つのグループをつくり、患者のサポート方法などを議論して発表し合った。

同センターは6日午後1～3時、アピオを会場に肝臓病患者向けの無料相談会を開く。医師らが治療方法などに関する相談を受ける。

2016（平成28）年3月6日
山梨日日新聞





肝疾患コーディネーターの活動調査

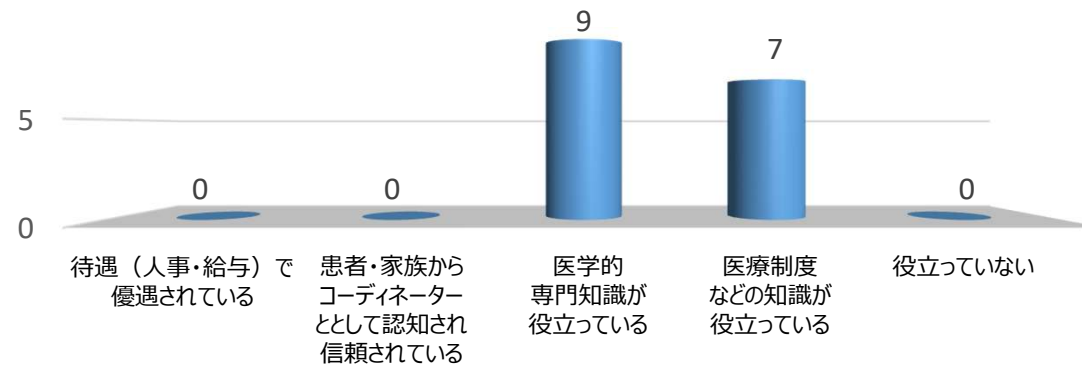
1、肝疾患コーディネーターの就労支援の関わりーアンケート調査

対象者：肝疾患コーディネーターのうち連絡が取れないものを除く193名

方法：アンケートを郵送、切手つき封筒で返信・回収

回収率：51.3% (99/193)

● どのような点で、コーディネーター資格が役立っていますか。

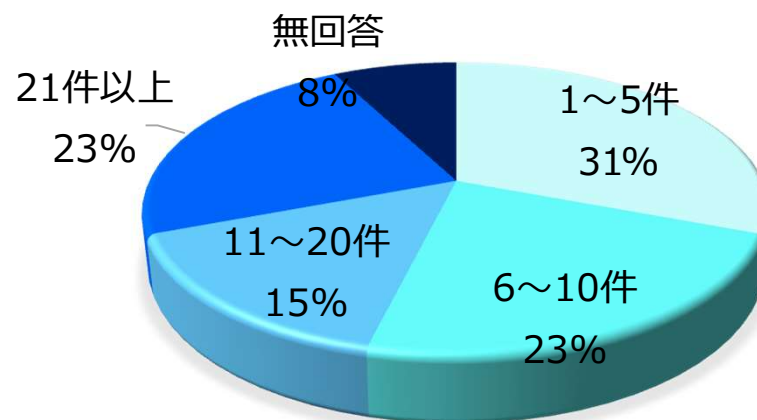


● 実際に、コーディネーターとして活動されていることをお聞かせください。

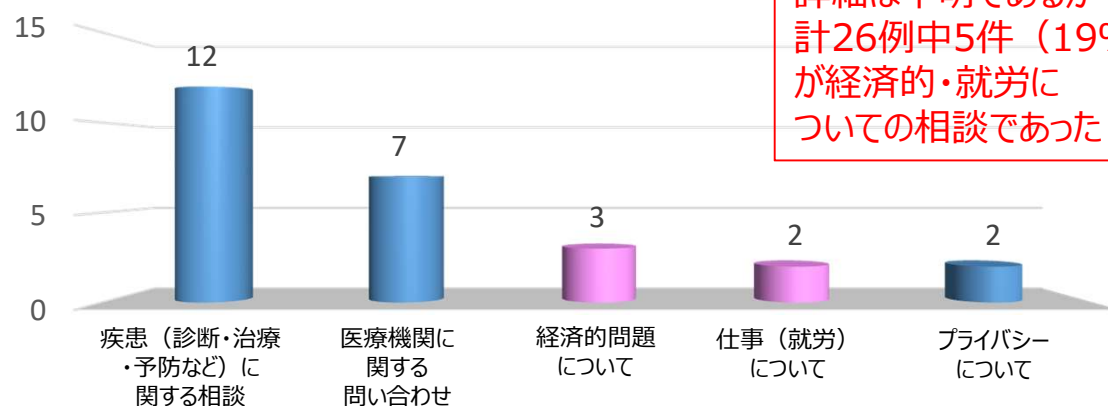


肝疾患コーディネーターの活動調査

- これまでの相談件数はどのくらいでしょうか。



- これまでの相談内容をお聞かせください。



複数回答なので
詳細は不明であるが
計26例中5件（19%）
が経済的・就労に
ついての相談であった





肝疾患コーディネーターのグループワーク

テーマ3： 肝炎患者さんに必要なサポートは？

- ✓ かかりつけ医・薬局・検診・（専門医）にパンフレットを
- ✓ 定期的に相談会を開催する
- ✓ 患者さん同士の情報提供の場
- ✓ 患者さんの不安や疑問の聞き取り
- ✓ 相談会の中でさまざまな職種の方々が知識を生かしてサポートする
- ✓ 患者同士・家族同士の交流
- ✓ 新しい治療選択などの情報提供（Web、紙媒体……）
- ✓ 治療を中断しないフォローアップ対策
- ✓ 内服薬の確実な投与のサポート
- ✓ 治療後の再燃等の検査
- ✓ 職場環境の改善・病気について理解してもらう
- ✓ 治療に伴う費用の負担を減らす制度のお知らせ
- ✓ 会社・家族の理解による適切な対応で精神的に安心感が得られる
- ✓ 必要なサポート→社会保障関連の案内。就労を継続しながら治療可能なこと
- ✓ 治療のために退職した方の再就職の支援
- ✓ 症状に応じた就労支援
- ✓ 休業時の所得補償
- ✓ 事業先（職場）への啓発も必要
- ✓ 様々な職種が集まっている→それぞれの知識を生かせるようなサポート

相談の場の提供
患者同士の交流
・情報共有

医療提供・
治療説明・選択
声かけ

職場・家族の理解
精神面でのフォロー

通院・入院・退院後の
就労支援
社会的保障の利用

法的
整備

肝疾患
コーディネータ
ー同士の連携



トータル
サポート



医師以外の医療従事者研修会 肝炎パネルディスカッション

肝疾患パネルディスカッション

肝疾患に関する医師以外の医療従事者研修会

日本肝臓学会と山梨大学医学部附属病院肝疾患センターでは、肝疾患コーディネーターなど医師以外の医療従事者を対象に肝臓病診療に関する講演会とともに、多くの医療従事者が集まって意見交換の場を設けるパネルディスカッションを開催いたします。ぜひ多くの方々の参加をお待ちしております。

1、基調講演「最新の肝臓病治療と肝臓学会の事業」



日本肝臓学会理事・山梨大学医学部第1内科教授

榎本 信幸 先生

2、特別講演「肝疾患センターの取り組み」



山梨大学医学部附属病院肝疾患センター長

坂本 穂 先生

3、パネルディスカッション

コーディネーター 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター長 榎本 穂先生

肝臓病の患者さんのささえとなるために

(拠点病院／宮津・山梨県・早川町・韮崎／肝疾患コーディネーター)



日時 10月29日(土) 午後2時～5時

会場 甲斐市数島総合文化会館 大ホール

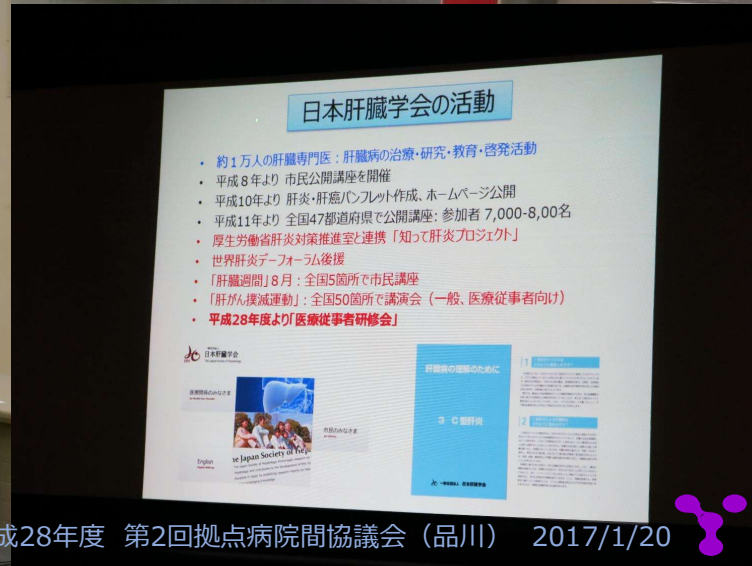
入場無料 定員200名 肝疾患に関わる方ならどなたでも参加できます

主催 日本肝臓学会 共催 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター 後援 山梨県

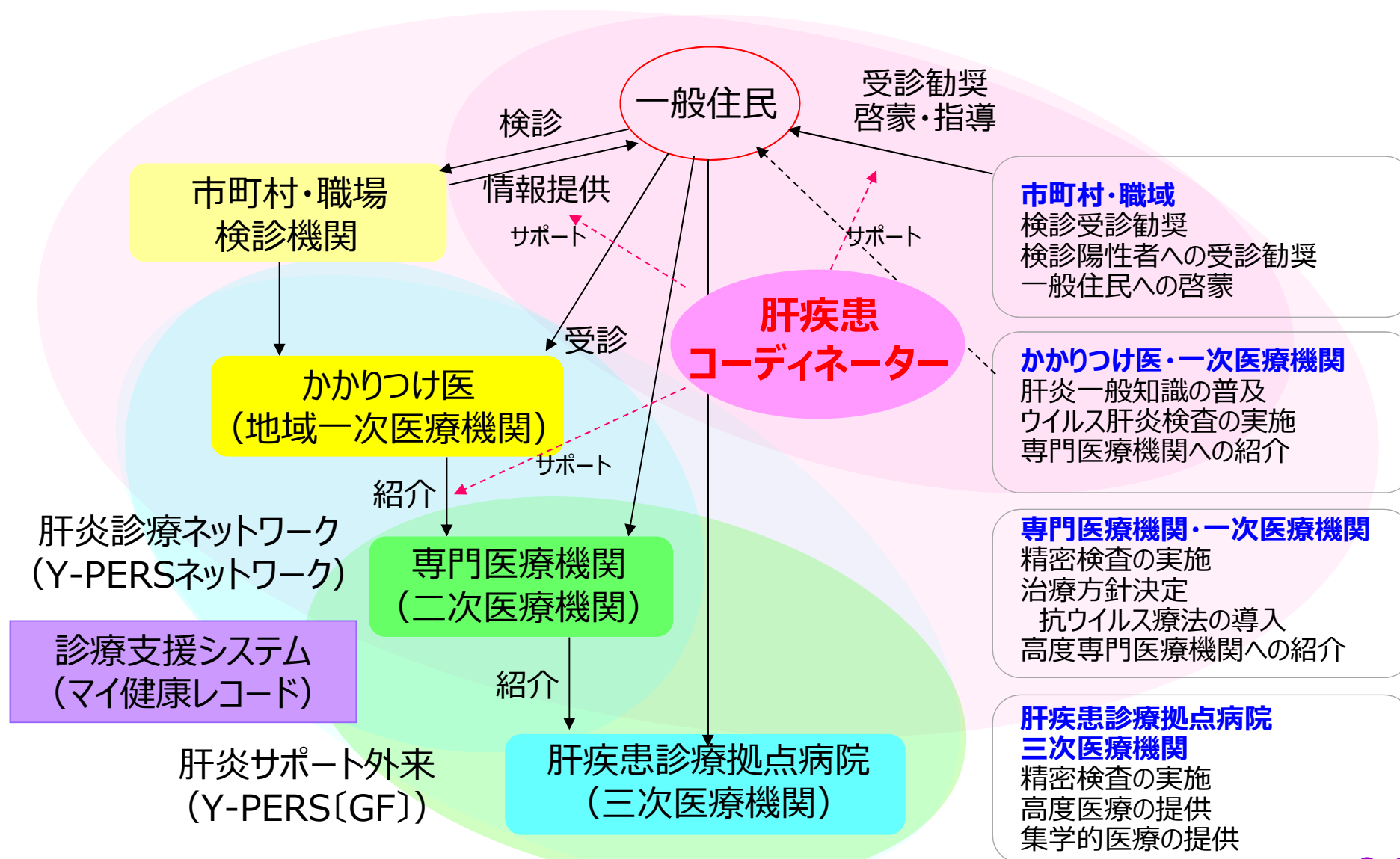
Minomoto 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター 山梨県 平成28年度第3回拠点病院間協議会(品川)

2017/1/20





肝疾患診療と地域連携の問題点と今後



肝疾患診療と地域連携の問題点と今後

